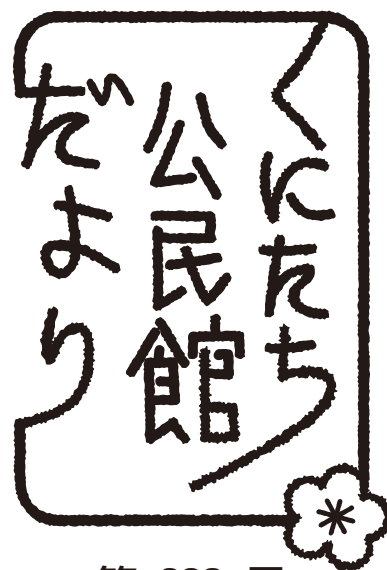




第 662 号

2015年4月5日

(平成27年)

発行

国立市公民館

〒186-0004

国立市中1-15-1

TEL 042-572-5141

FAX 042-573-0480

休館日：毎週月曜日

国立市公民館は、昭和30（1955）年11月3日に誕生しました。当時の日本は、新憲法の民主主義と平和の精神が浸透する時期であり、さまざまな住民運動が育つていく時でもありました。国立でも新しいまちづくりをめざし、「町名問題」や「浄化運動」「文教地区指定運動」が巻き起こりました。激しくも貴重な経験から「自分たちの問題は、自分たちの力で解決していく」という住民自治の精神と実践を学び、生活で直面する多くの課題に対し、住民自らの意思と意見を反映するための自己改革を成し遂げました。

住民主体の取り組みは、地域学習活動や文化活動を求める動きに派生し、その後の公民館誕生の際に遺憾なく発揮されました。全国の多くの公民館が文部省・行政主導で設置されるなかで、国立の公民館は、青年、婦人、地域、商工

会を中心に「公民館とはどういうものか」について自ら調べ、学び合い、関係各所に働きかけ、住民相互の理解を経て、住民自身の手により築き上げたのです。ただし、

たと言えるわけです。もしもあいう運動がなければ、たぶん公民館はできなかったと思います」と初代公民館職員であり元教育長の徳永功さんも当時をふり返って

公民館は60周年を迎えます

公民館長 石田 進

その建物は旧自治体警察の再活用で予算は一銭もありませんでした。

開館式典も清貧でしたが、そこには確かな学習への欲求、文化・芸術活動の拠点づくりを3年間待ち望んできた草創期の住民の熱い息吹や力強い原動力を感じることができました。

「公民館が生まれたのは、国立が文教地区になったから。つまり、文教地区に指定しようという住民の動きに連なっており、公民館ができ

ます。

後の事業においても、公民館の役割と住民のための事業とは何かを常に追求し、市民大学セミナー、若いミセスの教室と保育室、しょうがいしゃや青年学級などの事業を実施し、全国の公民館事業の先駆的事例を展開してきました。

この度、国立市公民館60周年記念事業を実施するにあたり、国立市公民館の成り立ちや原点を改めて学び直してみたいと思います。

公民館60周年・上映と講演のつどい

〈映画〉『町の政治—べんきょうするお母さん』

1957年 白黒30分 監督：時枝俊江

岩波映画『町の政治』は、国立町（当時）の公民館で町の予算がどのように使われているか勉強し、教育環境や暮らしの改善に向けて異議申し立て、提言に取り組む女性たちの活動を追ったドキュメンタリーです。この映画は、今年60年を迎える公民館開館当初の活動を伝える記録であると同時に、戦後日本の文化や社会を考える上での希少な映像資料として再評価されています。

今回は、記録映画を保存・活用するアーカイブ・プロジェクトを推進してきた吉見さんをお招きして、当時の日本社会をふり返ります。

お 話 吉見 俊哉（東京大学）

と き 4月24日（金）夜7～9時

ところ 公民館 3階講座室 定員 40名（先着順）

*ご自由においでください。この講座は、公民館運営審議会委員との共同企画です。

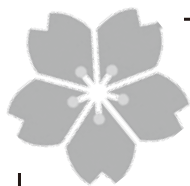
公民館60周年記念事業実行委員を募集します！

60周年記念事業の企画や運営、実施について、多くの方々からご提案やご意見をいただきたいと思います。ご興味のある方はどなたでもぜひご参加ください。いままでの公民館を知りこれからの公民館を考える契機にしたいと考えています。

と き 4月21日（火）夜7時～9時

ところ 公民館 3階講座室

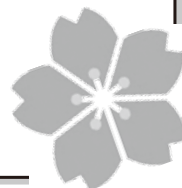
申込先 公民館 ☎ (572) 5141



学び、つどい、広がる場

—公民館をご利用ください—

公民館は市民の文化活動や学習仲間づくりなどのための学習施設です。
会場を利用してグループの学び、講座や図書室などを通して個人での学びを広げることができます。講座への参加や会場の利用は無料です。まずはお気軽においでください。



公民館の催し

講座やイベントなど、公民館が主催する行事は「公民館だより」やホームページでお知らせしています。毎月さまざまな催しを実施していますので、お気軽にお越しください。

「公民館映画会」や、最近出版された本・話題になった本の著者をお招きしてお話をうかがう「図書室のつどい」など、申込み不要で、月に一度開催している講座もあります。(4ページ参照)



「公民館映画会」では年2回、映画のお話もあります

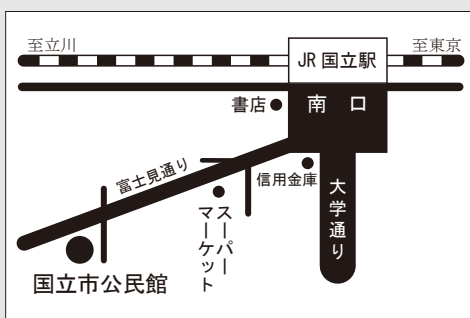
「図書室のつどい」では、さまざまなテーマを取り上げます



国立市公民館正面



JR中央線
国立駅南口から徒歩約5分



会場

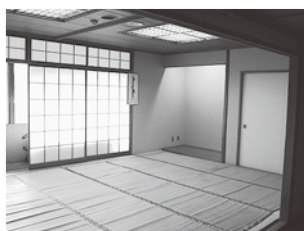
公民館には、市民グループ活動の場として無料で利用できる8つの会場があります。また、市民交流ロビーでは、展示をすることもできます。

公民館を利用できるのは、主に市内在住、在勤、在学の方で構成される、自主的な活動を行うグループです。個人が主催するもの(指導者が行う教室)や、宗教活動、政治活動、営利に関わる活動では利用することができません。

限られた会場をより有効に活用できるよう、市民の方々に協力していただいて、会場調整会を毎月開催しています。会場調整会の詳細は3ページをご覧ください。

■利用申込みの受付時間

朝9時～夕5時(祝日、年末年始を除く)。月曜日は休館のため、電話受付のみ。



和室(15帖)



地下ホール(定員85名)

公民館図書室

公民館図書室には約2万4千冊余りの本と、50種類ほどの日本語・外国語の新聞、雑誌があります。公民館活動、市民活動の資料室としての役割もついています。開室時間中は自由に読むことができます。国立市内在住、在勤、在学者および国分寺と府中、立川市民は借りることもできます。

初めて借りる方は住所を確認できるものをお持ちください。図書室利用カードは図書館と共通です。

■開室時間

火、木、金、日、祝日

…朝9時～夕5時

水曜日、土曜日:朝9時～夜8時

■休室日 毎週月曜日と年末年始



図書室は中2階と2階です

公民館の会場予約のご案内 —会場調整会—

要件を満たす市民グループが公民館の会場を借りて活動する場合、
「会場調整会」への参加によって会場の予約をすることができます。

1 「公民館会場等使用調整会参加申込書」の提出

公民館 1 階入口正面にある会場別ポストに
参加申込書を投入する。

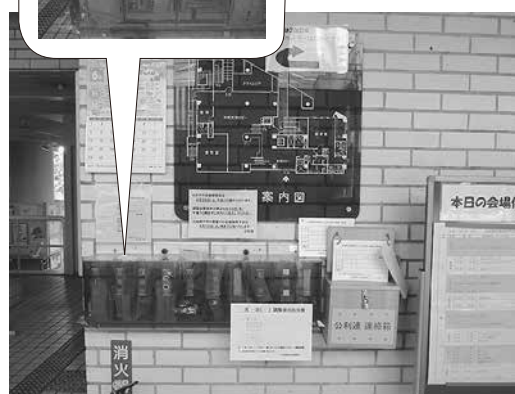
ポスト投入期限は、毎月、調整会直前の木曜日です。



2 会場調整会への参加

会場調整会は、毎月第一土曜日(祝日の場合は原則
翌日)午前10時～、地下ホールにて開催しています。
使用希望が重なっているときはお互いに話し合
い、調整を行います。

重なっているグループが調整会に参加しなかった
場合は、使用希望は取り消しとなります。



入口正面にあるポスト。参加申込書はこちらへ

3 本申込による予約の確定

調整の結果は仮予約です。調整会の会場で本申込ができます。

本申込は会場調整会から10日以内にしてください。10日を過ぎると仮予約は無効になります。

4 会場調整会後の予約方法

*利用要件などの詳細や不明な点
は、公民館までお問合せください。

*会場調整会は、公民館利用者連絡
会のご協力により実施しています。

会場調整会に参加しなくても、調整会当日の午後2時から、
2階事務室で空いている会場の予約を受付けます。
また、電話での仮予約は午後3時から受付けています。

■今後の日程

使用希望月	ロビー使用希望月	申込書のポスト投入期間	会場調整会
27年 5 月	27年 6 月	3 月 7 日(土) ～ 4 月 2 日(木)	4 月 4 日(土)午前10時
27年 6 月	27年 7 月	4 月 4 日(土) ～ 4 月30日(木)	5 月 2 日(土)午前10時
*27年 7 月	—	5 月 2 日(土) ～ 6 月 4 日(木)	6 月 6 日(土)午前10時

* 公民館では空調機器の入替工事のため、7月から10月の間で約2カ月間の休館を予定しています。
7月については、部分開館となることもありますので、申込みの際は、公民館にご確認ください。

へくにたちブッククラブ

記憶をたどり歴史を問う

月に一度、小説の世界に浸ってみませんか。この講座では、作品を読んで各自の読みを出し合い、参加者の話や講師のお話を聞いて読みを深めます。今年度のブッククラブは、戦中戦後のあり方を問う文学作品を中心に、明治から現代までの多様な作品がそろいました。どうぞご参加ください。

月日	作品	講師
4/23(木)	堀田善衛『方丈記私記』 (ちくま文庫)	紅野 謙介 (日本大学・日本近代文学)
5/21(木)	赤坂真理『東京プリズン』 (河出文庫)	佐藤 泉 (青山学院大学・日本近代文学)
6/11(木)	谷崎潤一郎『春琴抄』 (新潮文庫)	大野 亮司 (亜細亜大学・日本近代文学)
7/9(木)	いとせいこう『想像フジオ』 (河出文庫)	山岸 郁子 (日本大学・日本近代文学)
10/15(木)	辻邦生『西行花伝』 (新潮文庫)	東郷 克美 (早稲田大学名誉教授・日本近代文学)
11/12(木)	樋口一葉『にこりえ・たけくらべ』 (新潮文庫)	金井 景子 (早稲田大学・日本近代文学)
12/10(木)	有吉佐和子『香華』 (新潮文庫)	小田 麻衣子 (日本大学・日本近代文学)
1/14(木)	中島京子『小さいうち』 (文春文庫)	榎本 正樹 (現代日本文学)

とき 夜7時半～9時半
ところ 公民館 3階講座室 定員 30名
申込先 公民館 ☎(572) 5141



〈図書室のつどい〉

暮らしの中から考える民主主義

—ヒーローを待っていても“地域”は変わらない—

お 話 湯浅 誠 (社会活動家／法政大学)

「反貧困」を旗印に、格差社会に異議を申し立てた2008年末の「年越し派遣村」元村長・湯浅誠さんは、2012年3月までの約2年間、内閣府参与として政権に入った経験をもとに、『ヒーローを待っていても世界は変わらない』を刊行(文庫版)しました。



本書は、「決められない政治」「強いリーダーシップ待望論」について徹底的に考え抜き、議会政治と政党政治をあえて擁護する立場から、「おまかせ民主主義」に警鐘を鳴らした民主主義論です。統一地方選挙後のタイミングに、改めて民主主義のあり方を考えたいと思います。

〈湯浅さんの本〉

『ヒーローを待っていても世界は変わらない』(朝日新聞出版)、『反貧困』(岩波新書)、『貧困についてとことん考えてみた』(茂木健一郎と共著、NHK出版)ほか多数

と き 4月28日(火) 夜7～9時

ところ 公民館 地下ホール

定 員 85名(当日先着順)

*ご自由においでください。ただし、定員を超えた場合は入場を制限させていただきます。

シネボックス 公民館映画会

《シリーズ ニッポンの記録映画 VOL.42》

仏 像

人々が籠めた〈祈り〉の心

《上映作品》

『武蔵の国の仏たち』 1978年 カラー 29分

監督・脚本=小笠原基生 企画=教育庁文化課

『甦る村の仏』 1981年 カラー 26分

監督・脚本=山添 哲 企画=近畿日本鉄道

『円空』 1977年 カラー 30分

監督=松川八洲雄 脚本=松山善三 語り=宇野重吉

国分寺薬師堂の薬師如来像や高尾山不動堂の不動明王像などを通して地元の人々と仏像の結びつきを描く『武蔵の国の仏たち』、仏像修復の過程を追いながら、仏師が仏像に込めた思いに迫る『甦る村の仏』、各地を巡り、人々の為に木っ端に仏の姿を刻み続けた円空の生涯を追う『円空』。

信仰の対象として古来より親しまれてきた〈仏像〉と人々との心の結びつきを見つめた秀作ドキュメンタリー3本を上映します。

と き 4月19日(日) 昼2時～3時半頃

ところ 公民館 地下ホール

定 員 85名(当日先着順)

*ご自由においでください。ただし、定員を超えた場合は入場を制限させていただきます。

しょうがいしゃ青年教室

しょうがいしゃ青年教室は、しょうがいがある若者となない若者が共に活動して、お互いに学び合う場をつくることを目的にした青年教育事業です。一緒に活動するメンバーを募集します。

右記の7つのコースに分かれ、年に6～10回程度活動します。いずれかのコースを選んで参加できます。

また、全体での活動(クリスマス会、合宿など)や部活動も年に数回あり、希望に応じて参加できます。

期 間 5月～来年2月(一部3月まで)。月1～2回程度

対 象 市内在住・在学・在勤の学校卒業後～30歳くらいまでのしょうがいしゃ手帳を持つ方

*共に活動するスタッフも募集中!

申込先 4月15日(水)までに、朝9時～夕5時の間に来館または電話で担当までご連絡ください。

公民館 ☎ (572) 5141

※受付時間内に来られない方は早めにお電話ください。

※コースの参加人数にはそれぞれ定員がありますので、ご希望にそえない場合もあります。

スポーツ: 市内の体育館や校庭でさまざまなスポーツに挑戦します。ドロケイやソフトボールなどを行いました。第1金曜日の夜6時半～8時

Y Y W: 一人ではやらないことを皆で企画して楽しい時間を過ごします。流しそうめんやすごろく作りなどをしました。第2金曜日の夜7時半～9時

クラフト: 毎回オリジナルの工芸作品を作ります。七夕かざり作りや書初めなどを楽しみました。第4金曜日の夜7時～8時半

リトミック: 音楽のリズムに合わせて身体を動かします。第2土曜日の昼2時～4時(8、9月はお休み)

料理: さまざまなカレーをこだわって作っています。カレーの他にも、手巻き寿司やつけ麺などを作って皆で食べました。隔月第3土曜日の午後5時半～8時

喫茶実習: 公民館内の喫茶「わいがや」で実習をします。開店時と希望日時を調整して日程を決めます。

陶 芸: 毎月第1・3土曜日の午後 ※左下参照

合宿で栃木県に行きました



しょうがいしゃと交流しよう!

～いっしょにつくる陶芸講座～

この講座は滝乃川学園の協力を得て、陶芸をしながらしょうがいがある若者と交流をします。作った作品の一部は公民館にある喫茶「わいがや」の食器として使います。

講座終了後は、公民館1階の市民交流ロビーで、作品展を開きます。関心のある方の参加をお待ちしています。

講 師 木村 富美枝、大野 博美

と き 5月16日～11月21日 全10回
第1・3土曜日 昼2時～4時

(8月は休み、11月は21日のみです)

と ころ 滝乃川学園成人部作業棟 2階陶芸室
*初回は公民館1階青年室で説明会を行います。

対 象 原則全回参加できる方(18歳以上)

定 員 10名(先着順)

申込先 4月24日(金)朝9時～
公民館 ☎ (572) 5141

〈身体表現ワークショップ〉

からだであそぼう

～のびのびとうごくワークショップ～

のびのびとからだを動かして、自分を表現してみませんか? 毎回、まずは深呼吸をしてからだをほぐし、音楽やもの、ことばなどいろいろなヒントを使って楽しみながら自分のイメージを豊かに表現していきます。

こころもからだも柔らかくして自分の可能性を開放し、仲間と楽しく作品を創りましょう。全8回の講座の最後には、青年室のクリスマス会で作品を発表します。

ファシリテーター 大川 あじさい

〈プロフィール〉多摩美術大学卒。アーティスト。演劇・ダンス・絵画作品など発表。ジャンルにとらわれない独自の表現を模索・活動中。公民館内の喫茶「わいがや」元スタッフ。

と き 5月23日、6月27日、7月25日、9月26日、
10月24日、12月5日、12日、13日

土曜日 昼2～4時(全8回)

(※8・11月はお休み、12月13日(日)は発表会)

と ころ 公民館 地下ホール(7・9月は近隣別施設)
対 象 身体を使って表現すること、しょうがいがある人と一緒に舞台をつくることに関心がある方。年齢・国籍・性別・しょうがいの有無は問いません。
*しょうがいがある方は、後日面談をする場合があります。

定 員 15名(先着順)

申込先 4月9日(木)朝9時～5月15日(金)夕5時まで
公民館 ☎ (572) 5141

シルバー学習室

ー新たな発見と地域の仲間作りー



1年間を通してさまざまなことを学びながら、同じ市内に暮らす仲間との交流を深めていく講座です。終了後には同窓会「心遊会」に参加して、サークル活動が続けることもできます。
春から新しいことに挑戦してみたい方、市内での仲間づくりをしたい方、ぜひご参加ください！

とき 5月13日～3月16日 毎週水曜日 朝10時～12時
ところ 公民館 3階集会室ほか(料理は福祉会館)
対象 おおむね60歳以上の市内在住の方
定員 25名(年間を通して参加できる方)
申込先 4月8日(水)朝9時～ 公民館 ☎(572) 5141

《主な内容》※全ての講座に参加していただきます

◆健康を考えた手軽な料理

高血圧や骨粗しょう症予防の食事などを作ります。

講師 北川 みどり(管理栄養士)

◆くにたちの自然に目をむける(自然観察)

市内を歩いて、春と秋の植物を学びます。

講師 神成 カネ(なすなの会)ほか

◆三原色で絵が描ける(水彩画入門)

初心者でも描きやすい「キミ子方式」で水彩画に挑戦します。

講師 松本 キミ子(キミ子方式アートスクール)

◆音を楽しみながら体を動かす(リトミック)

軽い運動をしたり歌を歌って、心と体をほぐします。

講師 濱谷 紀子(同志社女子大学)

◆くにたちの昔の暮らしを知り、時代を振り返る(歴史)

昔の道具や食事から、国立の歴史を学びます。

講師 佐伯 安子(くにたちの暮らしを記録する会)

◆高齢者の生活を考える(リクエスト講座)

高齢者福祉制度や市内の高齢者グループの活動など、皆さんが学びたいことを取り上げます。

*各コースの間には懇談会を行います。

くにたち野鳥観察

ー多摩川周辺ー



この時期の多摩川河川敷周辺でみられる野鳥について、観察会を行います。先生のお話を聞きながら、どんな鳥がいるのか、じっくり観察してみましょう。

講師 相馬 尚教

(府中市郷土の森博物館 自然観察指導員)

とき 5月23日(土) 朝9時半～11時半ごろ

*少雨実施。雨天の場合は中止。

ところ 多摩川河川敷周辺

集合・解散 立川バス「国立操車場」バス停

持ち物 筆記用具、お持ちの方は野鳥図鑑、双眼鏡等
帽子、飲み物

定員 15名(先着順)

申込先 4月10日(金) 朝9時～

公民館 ☎(572) 5141

第60回 くにたち市民文化祭

文化祭を一緒につくりましょう!

第1回実行委員会のお知らせ

秋の市民文化祭に向けて、実行委員会を立ち上げて準備に入ります。

文化祭は、グループ活動や美術、伝統文化、芸能など、日ごろの活動の成果を発表する場です。文化の交流で、地域の仲間を広げてみませんか。

今年は公民館も60周年、市民文化祭も第60回となります。みんなで盛り上げ、地域での豊かなつながりをつくりましょう。多くのグループ、個人の参加をお待ちしています!

第1回 文化祭実行委員会

とき 4月23日(木) 夜7時～

ところ 公民館 地下ホール

連絡・問合先 公民館 ☎(572) 5141

※実行委員会は全4回開催予定です。

公民館運営審議会報告

3月10日(火) 第30期第5回定例会を開催。委員14名、館長、職員2名が出席。傍聴3名。

前回の議事録確認

議題

○公民館予算及び主催事業

館長、担当職員より説明。予算では、例年と大きな変動はないが、空調設備の入替工事、公衆無線LAN設置、60周年記念誌の印刷などを計上。主催事業は、これまでの事業展開や内容について説明あり。

○次期社会教育委員の会委員選出

佐藤節子委員長に代わり、間瀬委員を選出。

報告事項

○公民館だより編集研究委員会

2月号の3つの講座同時開催は、関心の高い内容なので時間をずらしてほしかったとの反響。3月号の講演要旨「記憶力の正体」は興味深かった。「報道されない中東の真実」はぜひ参加したい。

○社会教育委員会

答申についてまとめの段階。

○東京都公民館連絡協議会

狛江市の市民センターの改修に際し、市民より公民館増築の案。市民活動活発。

○その他

次回の公運審は29期答申の「現代の公民館に求められる事業について」意見を出し合い、理解を深める。

次回4月14日(火) 午後7時15分から。傍聴歓迎。(長田)

〈社会体育事業〉

小学生の初心者水泳教室

日時 5月20日(水)・21日(木)・27日(水)・6月3日(水)・4日(木)・10日(水)・17日(水)・18日(木) 計8回
午後4時から6時まで(初回は午後3時50分集合)

場所 くにたち市民総合体育館 室内プール

費用 無料

指導員 国立市スポーツ推進委員 保坂智子ほか

対象・定員

市内在住・在学の小学4・5・6年生
計40名(泳ぎの苦手なお子さんが対象)
※応募者多数の場合は抽選。6年生優先、初めての参加者優先。

申込方法

往復はがきに往信用裏に住所・氏名(フリガナ)・学年・性別・緊急連絡先電話番号を、返信用表にも住所・氏名を明記の上、お申し込みください。

※はがき1枚につき1名。複数名の記載、記載漏れの場合は無効とします。

申込締切 4月20日(月) 必着

申込・問合せ先

〒186-8501 国立市教育委員会 生涯学習課
「小学生の初心者水泳教室」係
生涯学習課 社会教育・体育担当
☎(576) 2107(直通)

ひろば

(8ページにもあります)



「童謡・唱歌を歌う会」

心が癒され元気が出る、懐かしい叙情歌の数々を、大きな声で、気持ちよく、思う存分、一緒に歌いませんか。先ずはご体験を、連絡待っています。

日時 月一回土曜日 朝10時
場所 芸小ホール 地下スタジオ
連絡先 沼崎(575) 2715

ウクレレ初心者! お仲間募集

ハワイアンの名曲・真珠貝の唄を練習しています。ウクレレに興味のある方、お待ちしております。ご見学は無料。詳しくは『コニコニの会』梶原まで。

日時 第二、四(水)夜7時~8時半
場所 富士見台二丁目集会所
連絡先 梶原(090) 8774

フルートサークル会員募集

アンサンブルの魅力を追求すると共に、メンバーの和を大切にしています。先生の指導を受け、秋に演奏会を開いています。

国立フルート「桜音の会」
日時 毎月第二、四(火)夜6時~8時
場所 富士見台地域防災センター
連絡先 西村(090) 2640

手のひら健康バレーへのお誘い

軽いボールを使ってバレーボールのルールでプレイします。チームプレーなので健康維持と同時に仲間づくりも出来ます。元気でスポーツに興味のある方見学下さい。

日時 原則 毎週水曜昼1時
場所 総合体育館
連絡先 宮本(571) 6430

水泳「CFC」会員募集

春です! 冬場の運動不足解消に泳いでみませんか。初級・中級・上級に分かれ女性コーチの指導で楽しく泳いでいます。会員は女性のみ。体験可。お待ちしています。

日時 毎週火曜日 昼12時~2時
場所 総合体育館 室内プール
連絡先 山田(505) 5162

和弓をひいてみませんか!

和弓は姿勢を良くし、集中力を養い、誰にでも出来るスポーツです。最初、用具は会で用意します。会費一回500円。詳細は夜7時以降電話を下さい。くにたち弓友会
日時 毎週一回(土)又は(日)午前中
場所 昭島市総合体育館弓道場
連絡先 長谷川(576) 1489

骨盤体操を始めませんか?

骨盤まわりを活性化し、下半身を引きしめてお腹ぽっこり対策、尿もれしにくい健康な体を手に入れてみませんか?
是非見学にいらして下さい。
日時 月曜日 夜8時
場所 中防災センター
連絡先 坂本(050) 3021

「よくら太極拳」会員募集

24・48式を中心に、年令問わず楽しく太極拳をしています。32式剣のレッスンも始まり、充実度アップ! 初心者の方も大歓迎です。太極拳で心身共に健康に!
日時 毎週金曜日 昼3時~5時半
場所 総合体育館 第3体育室
連絡先 山田(090) 3439

「北プラ吹矢の会」会員募集

楽しみながら、胸式腹式呼吸で自然と体調が整えられるスポーツ吹矢です。市主催の大会が毎年行われ、高齢者でも楽しめます。無料体験可。問合せは午後。

日時 第一、二、三、月曜 1時半
場所 北市民プラザ多目的ホール
連絡先 武田(090) 4415

国立泉州会

五七五の俳句を自由に楽しく作りませんか。花の名前や漢字も自然と覚えるようになります。初心者の方もお気軽にご参加下さい。五句持参見学無料。会費千円。
日時 毎月第三日曜日 昼1時
場所 福祉会館 3階
連絡先 田中(577) 7018

植物画スイートピーへのお誘い

皆最初は初心者でした。初心者から分かり易く指導して下さいます。楽しい植物画の会を目指して活動しております。見学自由、ご連絡をお待ちしております。
日時 月二回水曜日 昼1時半
場所 芸小ホール アトリエ
連絡先 田中(575) 7570

第11回さわやか水彩画展

水彩画を楽しむのびのびと描くことをモットーに活動しているサークル「くにたち彩の会」です。作品展を開催しますので、ご覧下さい。
日時 4月10日(金) 10時~15時(水)
場所 芸小ホール2階ギャラリー
連絡先 横井(572) 7752

国際友好会WINGの会

4月のWING異文化コミュニケーションの会は、バン格拉ディシユの歴史・文化・諸事情について、サレム・ムハマド・ジャハリーさんに講演してもらいます。

日時 4月16日(木) 夜6時半
場所 一橋大学 国際交流会館
連絡先 和田(090) 2110

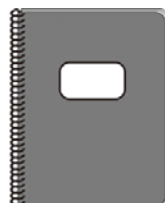
今月の公民館 (4月、5月初)

*印は参加自由、他は事前申込みが必要です。

- 19日 (日) 昼*シネボックス CINEVOX公民館映画会
「仏像一人々が籠めた〈祈り〉の心」
- 21日 (火) 夜 60周年記念事業実行委員会
- 23日 (木) 夜~くにたちブッククラブ
- 23日 (木) 夜*文化祭実行委員会
- 24日 (金) 夜*『町の政治』上演と講演
- 28日 (火) 夜*図書室のつどい
「暮らしの中から考える民主主義」
- 5月13日 (水) 朝~シルバー学習室
- 16日 (土) 昼~「しょうがいしゃと交流をしよう! ~いっしょにつくる陶芸講座~」
- 23日 (土) 朝 くにたち野鳥観察
- 23日 (土) 昼~「からだであそぼう
~身体表現ワークショップ~」

ひろば

(7ページにもあります)



LGBTと貧困

華やかなゲイ・カルチャーが消費され他の人権侵害を隠すため政治利用される影で、一般のLGBTへの無理解が当事者を貧困に追いやっていく。「要予約」

日時 4月17日(金)夜7時~
場所 スペースF
連絡先 スペースF(573) 4010

第19回くいしんぼクラブ ニュージールランド料理

ギルバート、呉さんご夫妻にマカロニチーズとデザートを用意しましょう。材料費800円。ふきんとゴミ袋をご持参下さい。

日時 4月18日(土)昼1時~
場所 福祉会館 3階料理講習室
連絡先 八宮(571) 1007

春のスペシャルおはなし会

がまどんさるどんは、公民館で読み聞かせ活動を行っています。今回も大型絵本・素話・エプロンシアターなど親子で楽しめます。春のおすすめ絵本も読めます。

日時 4月21日(火)昼2時半~
場所 公民館 3階和室
連絡先 堀(576) 7944

国立市 春季バレーボール大会

女子の部(9人制)

日時 4月19日(日)朝9時~
場所 総合体育館
連絡先 副田(580) 0856

男子の部(6人制)

日時 5月10日(日)朝9時~
場所 総合体育館
連絡先 佐土原(575) 7661

※申込み・参加費等の詳細は、各連絡先まで。

くにたち市民オーケストラ 第37回ファミリコンサート

ドヴォルザークスラブ舞曲集よりシューベルト交響曲第7番 未完成 ベートーヴェン交響曲第5番運命 指揮和田一樹 入場無料

日時 4月26日(日) 昼2時開演
場所 一橋大学 兼松講堂
連絡先 事務局(545) 9292

くにたち女声合唱団演奏会

第17回演奏会(40周年記念)を行います。日本抒情歌、四つの沖繩の歌・外国の歌のプログラムです。40年の感謝の気持ちを込め、私達らしい音色をお届けします。

日時 5月10日(日)14時(無料)
場所 小金井宮地楽器ホール
連絡先 諸井(576) 0358



〈サークル訪問2013〉 「よいいこ一美会」

土曜日の朝、公民館地下ホールにクラシック音楽が流れ、大鏡の前で10人が瞑想しているかのように始まった。座禅から開脚、うつ伏せとポーズが移る。各人が無理のないストレッチをしているようだが、みな驚くほど柔らかい。

「よさこい一美会」は、「こころ一つに美しく舞う」をキャッチフレーズに、指導者の大空ひとみ先生が、6年前に始めた「よさこいソーラン」のサークルである。

先生が合図して「新しい曲『パワー』を今日一日で覚えろ」と

言って振り解説を始めると全員が動きを追い、30分連続でロック調の曲を習い踊った。取材時は寒の最中だったが休憩中はドアを開放して涼むほどだった。後半は、鳴子を打ち鳴らしながら『アジアの海賊』を時間まで舞い踊った。

「よさこいソーラン」は1990年代に北海道から広まった。和のテイストを残した新民謡の舞踊で、世界の多様な文化要素との融合性が高い。一美会も昨年流行した『アナ雪』を舞ったそうである。

息を弾ませた会員のお話を伺った。「初めて見たのは息子の運動会。

カッコイイ!やりたいなと思って「入会したのは、公民館で『南中ソーラン』の映画上映後、一美会の実演を観たのがきっかけ」年十数回のお祭りや舞台での発表が楽しみ「美しく元気になる情報交換もさかん」とか。

現在は4歳から70歳まで、祖母と孫、母と娘で入会している方もいて30余名。100名を目指している。

防音と鏡のある会場を市内外に確保。週3回のうち都合に合わせて参加可。中高年の初めてのの方、男性も大歓迎。夏のステージに間に合います!とのこと。

活動日 (毎週) 火・木・土 会費、時間等の詳細はお問合せください。

連絡先 大空(1202) 1103
〈文・写真 荒井寿恵〉



♪身体がよく動く♪